

山梨大学大学院総合研究部(工学域)

地域防災・マネジメント研究センター

DESIRE Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

令和元年5月29日 国立大学法人 山梨大学

令和元年度事業計画:早川流域における表層崩壊による土砂流出モデルの開発(新規)

【事業の概要】

- (1) 早川流域における表層岩盤のスレーキング特性に関する実験的研究
- (2) 地形的指標による早川流域土砂生産危険性評価の検討
- (3) 表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデルの開発

【役割分担】

- (1) 国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所
- (2) 山梨大学 (研究協力:帝京平成大学.東電設計(株))
 - *国土交通省が実施する砂防関係事業等における技術的な課題に対して、地域の研 究機関に所属する研究者と管理者が、各現場をフィールドにした現地調査等を通し 共同して技術研究開発を行い、砂防関係事業等実施上の課題を解決することを目的 とする。



早川(大春木)右岸における表層崩壊

表層崩壊による土砂の生産・移動履歴を評価した土砂流出モデル案

評価に用いる要因を 用いて100 mメッシュ単位 で評点を算出

メッシュ評点の総和として 流域全体の土砂生産 ポテンシャルの評価

メッシュ評点総和値を流域 面積で除して,流域土砂 生産危険性を評価

- (評価に用いる要因)
- ① 傾斜
- ② 岩盤クリープ地形
- 崩壊跡地形 (3)
- 4 植生
- 水系
- ⑥ (地盤工学的特性)

流域管理の視点で砂防事 業の優先度を比較・検討